



発行日 2016年1月1日  
発行者 NICE沼津国際交流協会  
(企画広報部会)  
所在地 沼津市御幸町16番1号  
(事務局) 沼津市役所市民協働課内  
☎055-934-4717  
FAX055-931-2606  
<http://www.nice-numazu.org/>



# 沼津市・岳陽市友好都市提携30周年! これからも共に歩んでいこう!



▲平成27年10月29日～11月1日 友好都市提携30周年記念 岳陽市公式訪問

## 岳陽部会

### 『友好都市提携30周年記念 岳陽市訪問』

岳陽部会長・市民訪問団長 鈴木康圀

沼津市・岳陽市友好都市提携30周年を記念して、10月29日より11月1日まで岳陽市を訪問しました。短期間でしたが、栗原市長をはじめとする総勢37名（公式7名、市民A日程7名、市民B日程23名）と多くの皆さんが参加されました。市長自らが岳陽市を訪問されるのは17年ぶりであり市長夫人も参加されるということで、岳陽市では大変な盛り上がりでした。中国の儉約令の厳しい制限がある中で、岳陽市は最大限のもてなしをしてくれたと感謝しております。

盛栄華書記は上海の会議に出席のため不在で、劉和生岳陽市長も長沙出張中の多忙な中、わざわざ岳陽へ戻ってきてくれました。文化センター貴賓室で行われた表敬訪問での挨拶では、劉市長から「1985年4月5日の友好都市提携から両市友好交流の1ページが開かれた。今回の沼津市訪問団来訪は両市提携30周年の大総括であるし、両市の友誼を増進させるスタートで、今は両市が更に深く協力するチャンスでもあると思っている。これからも互いの交流を増やし、協力の領域が広がっていくことを願っている」旨のメッセージが発信されました。



劉和生市長は、一昨年末、盛栄華市長（当時）の後を受け就任されました（正式就任は昨年7月）。外事僑務弁公室も、組織改革や人事異動が4月よりスタートし、落ち着く間もなく英国のSOMERSET郡と教育に関する協定を結ぶなど重要なイベントが重なり、準備も大変だったと思います。訪問前日まで日程変更が相次ぐ中、沼津市広報広聴課から写真33枚の提供を受け開

催する予定だった沼津市紹介写真展も30日の文化センターでの展示を断念し、外国語学校のみになってしまいましたが、湖南理工學院の陳鈺國際交流処長にご協力いただき、理工學院図書館での展示も可能となりました。今後は、岳陽攝影協會等にも展示する機会を依頼していきたいと思っています。

外国語学校の友好会館にて宋副市長も参加して行われた日本語図書寄贈式では、英国から帰国されたばかりの王教育局長からの祝辞に続き、田中副会長から日本語書籍の贈呈を行うと、毛校長も感無量の様子。生徒の皆さんには展示写真を通じて沼津市を更に理解していただきたいと思います。贈呈式後、3班に分かれ授業参観、生徒達と意見交換等交流も行いました。



金鵝公園内にある中日友好記念碑にて記念撮影。記念碑の周りがすっかり綺麗に整備され、春には満開の桜の花が咲き、岳陽市民も楽しんでくれることでしょう。

君山島では両市木の植樹が行われ、悪天候でしたが皆さん楽しく参加され、君山銀針茶茶芸の見学、更には十二支石像・相性占碑の前では爆笑に次ぐ爆笑で大いに盛り上がりました。

岳陽楼では最上階から洞庭湖や往来する運搬船などを眺め『洞庭天下水 岳陽天下楼』と言われる悠久の歴史を感じ取りました。その後汴河街を散策し、皆さん中国語の勉強（買い物）を楽しんでおられました。

今回は、交通（公安）・食と衛生（ホテル）等関係諸官庁のご協力によって安心して行動することができました。到着空港が湖北省武漢市になり岳陽市到着が遅れ、またこの季節には珍しく寒い中を、高速道路を出てからはバスの前後を公安車両でガード、主要交差点では交通整理と我々の宿泊ホテルまでスムーズに移動でき、また食に関しても、管理の行き届いた安全でお

おいしい食事をいただくことができました。

歓迎会の翌日には送別会という慌ただしい滞在でしたが、歓迎会では栗原市長・浅原議長以下訪問団員や過去の岳陽市研修生も加わり、ステージ上で日本の歌を披露する機会もあり、両市の出席者が打ち解け和やかな雰囲気の中交流ができたと思います。また、今回特に嬉しかったのは、友好都市提携のきっかけである福地愛子さんがとても喜んで下さったことでした。君山島を除きほとんど我々と一緒に行動され、送別会では歌や踊りを披露され、今年90歳になるとは感じさせないお元気で安心しました。是非多傳先生を超えていただきたいと思います。

岳陽市での一連の公式行事を終え、A日程の皆さんは公式訪問団に同行、11月1日に帰国のため長沙に移動し2日に帰国。B日程は1日早朝高速鉄道で次の目的地鄭州に移動、嵩山少林寺・塔林・白馬寺・龍門石窟・兵馬俑など世界遺産めぐりをし、5日武漢天河国際空港より帰国。両日程ともトラブルもなく、岳陽での天候は快晴とはいきませんでした。大きな雨に降られることもなく、楽しく観光できました。



今回の岳陽市訪問に際し、沼津市側では市議会選挙、定例人事異動等があり、また岳陽市側では盛市長（当時）の書記榮転、劉新市長就任、組織改革では外事弁と旅遊局の合併で人事もなかなか決まらずに、立案から携わった沼津市役所担当課の皆さんは、想像の中での交渉・情報収集など、変更次々変更もあり大変苦労なされたことと思います。おかげ様で私達市民訪問団は訪問中毎日有意義に過ごすことができましたこと、深く感謝を申し上げますと同時に、今後より一層友好交流にご尽力下さることを希望し、関係者・訪問団員の皆さんへのお礼の言葉いたします。謝謝大家！

## ふれあい部会

### 『見たい！知りたい！ブラジルらいふ』

9月13日（日）、サンウェルぬまづに於いて『見たい！知りたい！ブラジルらいふ』が開催され、ブラジル出身で伊豆の国市在住の清水瑠偉主（シミズルイス）さんが、ブラジルの食文化や生活についてお話ししてくださいました。



「アマゾン川は河口に近いところでは川幅が100kmもあって海のようなです。アマゾン川に住むピラルクという巨大な魚は干物にして食べますが、においが強烈！」

「ブラジルにはアイスコーヒーはありません。アイスコーヒーは日本に来て初めて飲みました！ブラジルではホットコーヒーに砂糖を沢山入れて甘くして飲むので日本人には多分甘すぎると思います。」

「日本ではナッツとして知られているカシューは、ブラジルでは実を絞ってジュースにして飲みます。ナッツの部分は食べません。」

「ブラジルでは子供は裸足でサッカーをしていると聞いたことがありますか？」という質問には「遊びでプレーする時にはスパイクをはいていると危ないので裸足でやります。」というお答え。

定員をオーバーした会場からは「へえ〜」「そうなんだ〜」という声があちこちから聞こえ、流暢な日本語で写真を交えての楽しい講座は2時間があっという間でした。

最後に、カシュージュース、ガラナジュース、奥様のエリカさんお手製のキャロットケーキをいただき、ブラジルの味も堪能しました。



## ふれあい部会

12月6日(日)毎年恒例の「国際交流フェア」がサンウェルぬまづにて開催されました。

今年はインドネシア、イラン、ペルー、メキシコ、台湾、インド、キューバの外国紹介ブースと、姉妹都市のカラマズー、友好都市の岳陽、また日本文化紹介ブースとして華道、箏曲、日本舞踊、茶道、着装等合計16ブースが出展し、各国の紹介や体験、試食、物販等、異文化に触れていただきました。



今年は、ふれあい部会でデコマグネットを作成するワークショップにもチャレンジしました。いろいろなデコレーションを施し、仕上げに国旗をトッピング。



大人も子どもも夢中になって、かわいいオリジナルのマグネットが完成。来年もやってほしいとのリクエストもいただきました。



また、昨年に引き続き、全てのブースを回って頂けるようにクイズラリーを行い、景品の国旗マグネット

は大人気でした。

今年度は、中国岳陽市と友好都市提携30周年を迎え、昨年の10月末から11月初旬に、市長をはじめ37名で岳陽市を訪問しましたが、その様子をステージで発表したり、岳陽ブースに写真を展示して、岳陽市との交流を紹介しました。

ステージでは新しい試みとして、国際交流協会オリジナルクイズで各ブースを紹介したり、インドのお国紹介タイムを設けたりして、会場が盛り上がるように工夫しました。



その後もステージでは、ハワイアン、箏曲、キューバンパーカッション、日本舞踊、津軽三味線などを披露していただき、ステージと客席が一体となって楽しい時間を過ごしました。



天候に恵まれて多くの来場者があり、大変盛り上がった一日となりました。ありがとうございました。

## みどり美術印刷株式会社

パンフレット・自費出版・記念誌

沼津市沼北町2-16-19

TEL 055-921-1839 FAX 055-924-3898

## カラマズー部会

### カラマズーホームステイ体験

加藤 顕任

初めにアメリカのカラマズー市にホームステイをできたことに感謝申し上げます。私はアメリカに出発するときにカラマズーはどのような町なのか、カラマズーの方々はどのように僕達日本人に接してくれるのか凄く不安でした。不安と同時にカラマズーに行けると思うと楽しみで早く着いて欲しいという気持ちでした。

日本を出発しカラマズーに着き、ホストファミリーと合流。最初は凄く緊張して、せっかく僕に一生懸命わかりやすいように英語をしゃべってくれていたのに、恥ずかし過ぎて下ばかり向いてしまい申し訳ない気分でした。しかし、次の日にはもう毎日一緒にいるかのように話ができました。なぜなら、カラマズーの方はいつも笑顔で、特にホストマザーや家族の方々は本当の家族のように僕に接してくれたからです。またホストマザーは、祝日以外は仕事があるので、僕が退屈しないよう、知人に声をかけ僕をどこかに連れていってくれるように手配までしてくれていました。もちろん祝日はホストファミリーと出かけたりしました。

ある日、僕はホストグランドファザーの家に行きました。そこで出会ったホストグランドマザーが「はるばる遠い日本から私の家に訪ねてくれてありがとう！」と優しく僕に話してくれました。その後、ホストブラザーとバスケットをし、毎日が冒険のようにワクワクドキドキする気分でした。またカラマズーのみなさんは気軽に話しかけてくれ、とてもフレンドリーでした。本当にカラマズーの方々には明るい人ばかりでした。またカラマズー市は緑が多くてオシャレな建物もあり、とにかく日本と違って土地やスーパー、建物など、なにかも大きくてびっくりしました。

カラマズーにホームステイできたことがとても嬉しかったです。機会があればまたカラマズーに行きたいです。

### ホームステイ

堰 沢 夏 也

僕は、沼津国際交流協会で開催していたカラ

マズーへのホームステイに7月31日から8月14日までの期間行くことになりました。

初めの1週間はバンベックファミリーの家で生活をしました。カラマズーに着いた翌日から色々な所に僕を連れていってくれたり様々な体験をさせてくれました。ホストブラザーと行ったスポーツショップでは本物の銃やナイフが売られていてとても驚きました。また、ホームセンターやスーパーにも行ったのですが、日本では売られてない様な食べ物や飲み物、家具などあって、新鮮でした。ホストシスターと大きなトランポリンで遊んだり、公園にも行きました。乗り物や遊具がたくさんあって、一緒に遊んだことがいい思い出になりました。

初めの1週間でバンベックファミリーとはお別れしましたが、ホームシックになることもなく、充実した生活を送れました。2週目のホストファミリーはクレイトンファミリーでした。クレイトンファミリーの家は1週目のバンベックファミリーの家と少し離れたところがありました。こちらのファミリーも色々な所へ連れて行ってくれました。ギター工場やギターセンター、ウォーターパーク、スターバックス、ステーキ屋さん、ミシガン湖、ショッピングモール、お祭り、映画館など本当に色々な所へ行きました。映画はドラゴンボールでした。しかし、日本のものとは声が違ったので違和感を感じました。

今回、アメリカに行ったらシャワーの水がヌルヌルだったり、水道水はまずくて飲めないということや他にも驚いたことがありました。アメリカの州によっても違う様ですが、車の運転は16歳から出来るということで、歳が一つ下の友達も運転をしていました。日本とアメリカでは車の運転や銃規制など違うことが色々あることを実感しました。今回のホストファミリーの方々は、僕の英語がうまく通じなくても単語や身振りなどで理解しようとしてくれました。ホストファミリーのお陰で、とても充実した2週間を過ごすことが出来ました。日本に帰るのが嫌になるくらい楽しい日々でした。

今回のホームステイで、僕はもっと英語を勉強して、今度は1年間位留学して外国の人と自由に話ができるようになりたいと強く思いました。

## 国際理解教育部会



10月10日(土)に沼津市立図書館にて開催された「2015NICEにほんごスピーチコンテスト」出場者の皆様

### 日本への思いを日本語で熱く語ろう！ 「2015NICEにほんごスピーチコンテスト」

8カ国14人が出場し、これまでの日本語学習の成果を披露しました。5分間ほどの持ち時間を使って語られた内容は、「日本語学習、日本文化というテーマのもとスピーチをしていただきましたが、日本人の私たちにとっても、新たな気づきを与えてくれる素晴らしいものでした」と、審査員たちも絶賛。それぞれの日本語学習レベルに合わせ、自分たちの主張を繰り広げた出場者たちは、だれが優勝しても不思議はないほどでした。審査員たちが悩みに悩んで、1～3位と特別賞を選出。見事入賞されたのが以下の方々です。皆様おめでとうございます！

#### ★1位「最後まで諦めないで下さい」

日本語学習において挫折感を味わった後、そこから諦めないことの大切さを学んだと表情豊かにスピーチ。ノーベル賞受賞の大村智氏の「成功者ほど失敗が多い」という時事エピソードを交えたところも高評価でした。アハマド シャキル ハキム ビン モハマド ユソフさん (マレーシア)



#### ★2位「日本にきたもくてぎ」

日本の文化、技術を学んで、自分の国を先進国にしたいと熱く語り「目的がなければ未来はない」という力強い言葉が、聴衆の心をつかみました。シュクロン ナワウイさん (インドネシア)



#### ★3位「自然の技術」

“自然は無料の教科書”であると、巻き貝や家バエの特性を紹介。豊かな日本だからこそ自然と共存しようという呼びかけが印象的でした。ムタヒ フェイス ジョキさん (ケニア)



#### ★特別賞「サムライ」

左：ウダゲダラ ダヌスカ バンダラ ナワラトナさん (スリランカ)

#### ★特別賞「笑顔」

右：グエン スアン  
トゥエンさん  
(ベトナム)



コンテストの後は交流会が開かれ、運営スタッフも和気あいあいと大会の成功を祝いました。



婚礼 宴会 宿泊 ランチバイキング  
 ホテル沼津キャッスル  
 ご予約・お問い合わせ ☎0120-223021